

あなんちょう

☞ 議会だより

新野高原から望む朝日

主な内容

- ◆ 新年のご挨拶 議長 栗生 勝由・・・2
- ◆ 12月定例議会・・・・・・・・・・・3
- ◆ 町長のあいさつから、活動報告・・・4
- ◆ 常任委員会、議会の動き・・・・・・・・5
- ◆ 一般質問・・・・・・・・・・・6～10
- ◆ 国・県への提言活動、編集後記・・・10

第84号

令和3年1月30日



新年のご挨拶

議長 栗生 勝由

新年 明けましておめでとうございます。

輝く令和3年の新春を迎え、心からお祝い申し上げます。

日頃より、議会活動に対し深いご理解とご支援を賜り、議会を代表して厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年は年明けからコロナウイルス感染の拡大防止、これに伴う経済不況、追い打ちをかける豪雨被害、台風災害と、大変な一年でした。

阿南町では、全町民に対して2回に渡ったの支援金等の全戸配布、商工業者に対する支援、そして12月議会で決定された農業者に対する支援策の実施と、町民の皆様への、「格差のない支援」が実施されています。議会としても町民の安全・安心の暮らしのための提言、要望をするなど、全面的に協力して参りました。

しかしながら、コロナ感染が、ステージ3からステージ4に到達するのではないかと、心配されるところです。本年も、町民一人一人がしっかりと自覚を持ち、一日も早いコロナの感染の終息に、更に努めていかなければなりません。

さて、昨年からの阿南学園の改築、災害復旧、信州アトムへのライスセンターの建設など、行政は動いています。

制約された現状ですが、議会も役目を十分に発揮できるように、本年も努めて参ります。

昨年の「今年の漢字」は「密」でした。この文字の意味を充分理解して、一日も早く「コロナ」が終息し、平穏な生活を送れますよう、そして令和3年が希望のもてる、穏やかな年にできるよう、皆さんとともに力を合わせ、頑張っていきたいと思います。

終わりにあたり、議会一同、町民の皆様のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。



一般会計 総額 1億3,331万9千円追加補正 54億3,898万8千円

12月定例議会は、12月10日(木)に開会。15日(火)に各常任委員会を開催して、12月21日(月)に閉会した。

専決処分案件8件

算(第4号)

専決第3号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

専決第4号 特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例

専決第5号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

専決第6号 第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

専決第7号 令和2年度阿南町一般会計補正予算(第6号)

専決第8号 令和2年度阿南町介護保険特別会計補正予算(第2号)

専決第9号 令和2年度阿南町水道特別会計補正予算(第2号)

専決第10号 令和2年度阿南町下水道特別会計補正予算(第2号)

南町一般会計補正予算(第6号)

行つもので、原案どおり可決。

補正予算案件5件

議案第48号 阿南町一般会計補正予算(第7号)について

1億3,332万9千円追加

54億3,898万8千円

原案どおり可決

普通地方交付税

9,698万8千円

新型コロナウイルス対策地方創生臨時交付金

1億5,861万4千円

農林業施設災害復旧県補助金

8,379万4千円

小中学校情報機器整備国庫補助金

1,983万7千円

地域ささえ合いプラスワン消費税促進事業県補助金

1,642万5千円

災害復旧事業債

8,740万円

総額

54億3,898万8千円

災害復旧事業費(土木18カ所 林道2カ所 耕地21カ所) 3億963万8千円

元気がでるあなん生活応援商品券事業費(1人あたり3万円)

1億3,975万6千円

学校ICT整備費

4,585万3千円

新型コロナウイルス感染症予防対策事業

926万7千円

議案第49号 阿南町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

199万円追加

4億1,499万円

原案どおり可決

原案どおり可決

基金積立金 111万円

議案第51号 阿南町水道特別会計補正予算(第3号)

292万5千円追加

1億8,981万2千円

原案どおり可決

議案第52号 阿南町下水道特別会計補正予算(第5号)

51万5千円追加

2億1,359万3千円

原案どおり可決

各処理施設管理費

102万9千円

はじめに コロナウイルス感染拡大に歯止めがかからず、医療提供体制の逼迫に対する警戒が強まっており、今後も感染予防策の実施を強くお願いしたい。
当面の課題とその対応について、

町長あいさつから

12月定例議会

● **町民バス事業は**、バスを3台運行から2台運行に減便し、運行便数やルート、実証実験の方法や時期、利用者への改正案の周知方法等協議して来年3月には、実証実験計画案を示したい。また1月からは、**運転免許自主返納者への利用料免除を実施したい。**

● **国土強靱化地域計画、新たな過疎対策計画、公共施設個別施設計画の**今年度中の策定を目指している。

● **アトムへ遊休農地対策プロジェクトによるミニライスセンターの整備を**図り、農業従事者の確保と農地の荒廃化の解消を図りたい。

● **個人の農業用機械備品の導入に要する費用の一部を補助金として交付し**たい。

● **農業生産事業者へ10万円支援したい。**

● **水道漏水について**、箇所発見と修繕を進めてきた。結果、漏水が10%減った。また管路更新10年計画で、14キロメートルの管路を更新する。

● **阿南病院運営懇談会を設立した。**南部地区の拠点病院なので南部町村も一丸となって守っていききたい。合わせて、**医師住宅建設計画**について、県病院機構が建設する医師住宅2棟への補助と町営医師住宅1棟を計画している。

● **かじか温泉経営**について、年々利用者が減少しており、入湯料の引き上げも考えなくてはならない時期がくると思われる。

活動報告

● 飯田建設事務所と議会との土木行政懇談会

10月20日(火) 午後3時30分
から富草出張所に於いて開催。

飯田建設事務所から細川所長、二村企画幹兼維持管理課長をはじめ幹部職員7名、町側から勝野町長、松沢副町長、建設環境課長他担当職員3名、議会からは



代表で正副議長、正副総務産業建設常任委員長の4名が出席した。
国道151号新野峠工区をはじめ国道8路線の改良整備促進、防災工事の継続的な実施等について要望した。

● 飯伊市町村議会議員研修会

10月26日(月) 午後1時15分
から下條村コスモホールにおいて開催。



講演 「**スマートシティ**」
副局長 諏訪 孝治氏

講演 「**スマートシティ**」
副局長 諏訪 孝治氏

になると議会は**どう変わるのか?**

早稲田大学マニフェスト研究所

事務局長 中村 健氏

● 宮下代議士及び宮島代議士に要望活動

12月6日(日) 宮下一郎代議士及び宮島善文代議士秘書に宮下一郎飯伊事務所に於いて、新野峠工区未改良区間の改良整備の促進について、町長、正副議長、総務産業建設常任委員長で要望活動を行った。



議会の動き

新型コロナウイルス感染防止のため、各種会議、行事の多くが縮小、延期、中止になりました。

- 10月** 16日 広域連合管内視察（大鹿村他）
 20日 建設事務所との土木行政懇談会
 富草老人福祉センター他
 26日 飯伊市町村議員研修会（下條村）
 27日 県議長会総会（長野市）
- 11月** 4日 南部地区議長会（天龍村）
 5日 阿南高校協力会
 6日 広域連合議会運営委員会（飯田市）
 阿南病院運営懇談会
 9日 南部総合事務組合定例議会
 10日 南部議長会建設事務所提言活動（飯田市）
 12日 リニアアクセス道路東部軸連絡会議
 （飯田市）
 17日 議会運営委員会 町社会福祉協議会との
 懇談会
 20日 広域連合検討委員会（建設、産業、経済）
 （飯田市）
 24日 広域連合検討委員会（総務、文教、消防）
 （飯田市）
 30日 広域連合定例議会 同全員協議会
 同議会運営委員会（飯田市）
- 12月** 4日 議会全員協議会 議会運営委員会
 6日 宮下代議士への要望活動（飯田市）
 9日 県議会議長 建設部提言活動（長野市）
 10日 12月定例議会開会
 15日 総務産業建設常任委員会（午前）
 社会文教常任委員会（午後）
 17日 下伊那町村議長会役員懇談会（飯田市）
 21日 12月定例議会再開
 24日 農業振興地域整備促進協議会

総務産業建設常任委員会

12月15日(火)午前9時30分
 から協議会室に於いて開
 催。付託・提案された案件
 について審議した。

主な審議内容

緊急自然災害防止対策事業債	2,798万8千円	阿南温泉看板及び塀改修工事	361万8千円	《付託案件》	災害からの復	災害に対応するため、災害	提案された条例案件	12月15日(火)午後1時30分
国庫支出金・県支出金	8,974万8千円	林道門原線吹付工事及び林	390万円	災議第1号	復旧及び防災・減災、	復旧及び防災・減災、国土	（議案第45号）	から協議会室に於いて開催。
農業者向け個人事業者特別	250万円	道修繕工事	390万円	旧・復興及び防災・減災、	強靱化への取組みは、より	強靱化への取組みは、より	提案された補正予算	提案・付託された案件につ
給付金	2,000万円	林道大沢線災害復旧工事	1,498万2千円	国土強靱化に向けた社会資	一層その重要性を増してい	て、喫緊の課題となってい	算（第7号）	いて審議した。
体補助金	200万円			本整備の促進を求める意見	るため。		議案第49号国民健康保険特	
農業機械等導入事業補助金	250万円			書の提出について			別会計補正予算（第1号）	
議案第51号 水道特別会計							議案第50号介護保険特別会	
補正予算（第3号）及び議							計補正予算（第3号）	
案第52号下水道特別会計補								
正予算（第5号）について								
は、質疑なし。								
審査の結果								
採択とすべきもの（関係								
大臣等に対して意見書を送								
付することが適当）								
委員会の意見 近年の想定								

社会文教常任委員会

12月15日(火)午後1時30分
 から協議会室に於いて開
 催。付託された案件につ
 いて審議した。

提案された条例案件

緊急自然災害防止対策事業債	2,798万8千円	阿南温泉看板及び塀改修工事	361万8千円	《付託案件》	災害からの復	災害に対応するため、災害	提案された条例案件	12月15日(火)午後1時30分
国庫支出金・県支出金	8,974万8千円	林道門原線吹付工事及び林	390万円	災議第1号	復旧及び防災・減災、	復旧及び防災・減災、国土	（議案第45号）	から協議会室に於いて開催。
農業者向け個人事業者特別	250万円	道修繕工事	390万円	旧・復興及び防災・減災、	強靱化への取組みは、より	強靱化への取組みは、より	提案された補正予算	提案・付託された案件につ
給付金	2,000万円	林道大沢線災害復旧工事	1,498万2千円	国土強靱化に向けた社会資	一層その重要性を増してい	て、喫緊の課題となってい	算（第7号）	いて審議した。
体補助金	200万円			本整備の促進を求める意見	るため。		議案第49号国民健康保険特	
農業機械等導入事業補助金	250万円			書の提出について			別会計補正予算（第1号）	
議案第51号 水道特別会計							議案第50号介護保険特別会	
補正予算（第3号）及び議							計補正予算（第3号）	
案第52号下水道特別会計補								
正予算（第5号）について								
は、質疑なし。								
審査の結果								
採択とすべきもの（関係								
大臣等に対して意見書を送								
付することが適当）								
委員会の意見 近年の想定								

《付託案件》
 請願第6号 安全・安心の
 医療・介護の実現と国民の
 のちと健康を守るための
 請願について
審査の結果
 採択すべきもの（関係大
 臣に対して意見書を送付す
 ることが適当）
委員会の意見 安全・安心
 の医療・介護の供給体制の
 充実を強く要望していく必
 要があるため。

一般質問

一般質問は初日に7人が行いました。

議員名	質問事項	
石田 仁志	官・民の連携について	
	①興垂エレクトロニクスとのコラボレーションについて	・進捗状況と来期に向けての方向性は
	②かじかの湯の将来の方向性について	・かじかの湯を一体化して構想を練る考えは ・道の駅改修後、イベント等町との協力体制は
	③人材育成について	・地域の実情に合わせた町独自の人材育成は
勝野 猶美	国民健康保険について	
	①健康診断の現状	・受診状況と評価は。受診率向上への取組みは
	②高額療養費制度の仕組みと申請	・仕組みと申請方法は。周知のための取組みを
	③運営状況	・現在の運営状況と課題は。県一本化の目標と現状は
金田 健介	④持続可能な制度	・持続可能な制度管理、運営が必要
	1. 農業関連施設について	・農業施設の補助について
	2. 地域人材の育成について	・活性化の突破口として地域人材の育成を強化すべき
	3. 地方移住について	・情報と相談を図り、確実な移住と定着に繋げていければ
平松 三武	1. これからの米作りは	・ふるさと納税で単価は上がったが
村澤 博光	1. 道路設計の見直しを	・車の通行困難な横断側溝
	2. 森林作業道も災害復旧の対象に	・災害で荒れ放題 維持管理費支出を
	3. 生活相談 100 番を	・コロナ禍で1人の犠牲者も出さない ・町民の生活実態の把握はできているか
金田 豊	1. 新型コロナウイルス感染症対策について 第3波に対して備えを	・PCR 検査、抗原検査に補助は ・感染確認時のシュミレーションは ・福祉施設との情報共有は ・不安を解消させる情報発信を
藤澤 隆壽	1. アトムの組織 就業規則の現状と対応	・発足から 10 数年、組織の見直し
	2. 観光開発 大きな開発でなく小さな開発からまず 1 歩を	・1 都会からの誘客、PR 方法 ・2 開発箇所は星空、キャンプ場、眺望



石田 仁志

興亜エレクトロニクスとの コラボレーション

進捗状況と来期に 向けての方向性は

境のPR、ホームページの改善について、町担当係を含め目標達成までのスケジュールを構築する。次回は今月17日会議予定。

問 かじかの湯の将来の方向性

●石田 かじかの湯は、現状「管理・運営」と「環境整備」が別々になっている。情報発信により来てもらう体制づくりを一本化して、構想を練る考えは。

■振興課長 新たな取組みについて、指定管理者と協議して入湯者の確保に努めたい。情報発信についてもコラボ会議と連携していきたい。

■町長 30年を経過し入湯客も減ってきている。来年は担当を1人増やし発展に繋がるよう努力したい。

問 町独自の 人材育成を

●石田 地方自治体は、自主的、主体的に各施策、構造的な問題に対処が必要。町

■振興課長 11月19日にコラボ会議を行い、今後の進め方を決定した。観光プランの提案、福祉、子育て環

●石田 昨年の4月からスタートしたコラボレーション活動は第6次総合計画の移住・定住、情報発信、観光等の基本となり、進捗状況と来期に向けての方向性は。

独自の人材育成の考えは。

■総務課長 地域人材、職員の人材育成の必要はあるが、取組みができない状況もある。そういう部分についても今後やっていきたい。



勝野 猶美

国民健康保険について 健康診断の現状

●勝野 早期発見、早期治療の観点から健康診断が重要。受診の現状と評価は。

■民生課長 健康診断の受診率は、ここ数年向上しており、59%程度と目標の60%に近い。

●勝野 80%と更に上を目指し向上策を。

■民生課長 今の目標を達成したら次の目標へと進ん

でいく。また、未受診の方を対象に積極的に働きかけ、受診率向上を図っていく。

問 高額医療制度について

●勝野 制度の仕組みと申請方法は、また、事前に申請されなかった場合の処置は。

■民生課長 この制度は、医療費の個人負担が、所得に応じて決められた一定額を超えないように、負担の軽減を図るものである。あらかじめ高額な医療費が見込まれる場合、役場、出張所に申請、限度額適用認定証を受け取り、医療機関に提示、適用を受ける。また、事前申請がない場合や、複数医療機関を受診した時、医療データを積み上げ対象者に通知する。

●勝野 少子高齢化、コロナ禍等厳しい環境の中、制度運営の現状は。保険料負

問 国民健康保険運 営の現状は

●勝野 少子高齢化、コロナ禍等厳しい環境の中、制度運営の現状は。保険料負

担の増加は。

■民生課長 以前の市町村単位の保険制度から県一本の広域化が図られ、納付金制度に変わった。県全体の医療費を基に、各市町村の状況に応じて算定された納付金を県に納める制度である。当町の運営状況も良好。基金も積立てられており当面は、保険料維持の見込み。

●勝野 保険料水準を含む制度の県統一化が望まれるが見通しは。

■民生課長 昨年から統一に向け課題検討に入っているが、市町村間の格差が大きく困難な状況にあるもの



健康第一！

の、令和3年度より国保運営方針にロードマップ（工程表）を示す予定。

問 持続可能な制度、 事業運営を

●勝野 健康保険のみならず介護保険、上下水道などの多くの事業についても将来に向け持続可能な制度でなければならぬ。現状や将来見通し等丁寧に説明、町民との情報共有を。

■副町長 例えば、水道の140kmに及ぶ管路を10年計画で整備するなど課題は山積み。町行政全般に町民の皆様は数字での見える化を図り、必要性を説明、ご理解とご協力を頂けるよう進めていく。



金田 健介

問 農業施設の補助を

●金田 畜産農家がコロナ第3波による需要の減少等不安を抱えている。中小家族経営を含む多様な生産者が意欲を持って営農できる環境整備を。

■振興課長 畜産関係の新改革事業では、事業費50万円以上で50%補助の制度がある。これには、自然災害による制度もあり、相談をいただきたい。また、29年度からは、畜産人口受精振興補助金制度もある。

問 地域人材の育成

●金田 地方創生で、地域人材の育成を強化すべきと

思うが。

■総務課長 地域人材は、町を良くしたい強い思い、情熱、熱意等自分の住んでいる地域への参加が必要。既存のまちづくり団体も含め、懇談会等を通じて方向性を町ともすりあわせると

かして、一体となって地域づくりを進めていく必要がある。

問 地方移住について

●金田 地方への移住に関心が高まっており、ニーズに応じた相談対応や暮らしの現実を伝える情報提供等で、確実な移住と定着につなげられないか。

■総務課長 都会から地方への移住の高まりは、承知している。現在コロナ問題



畜産経営に取り組む畜舎（門原）

もあり移住者希望者の往来についても慎重にならざるをえない。実際に町に来てもらう、町の状況を肌で感じていただく、町を見て判断いただくことが一番重要であると思う。今はコロナが終息に向かわないと

思っている。



平松 三武

問 これからの米作り

●平松 荒廃地防止策の米作りについて、経費

がかかりすぎて収入にむすびつかない。米作りで食べていけるよう補助金等考えられないか。

■振興課長 個人で1件10万円以上の農機具購入について、10分の6以内で50万円限度の



補助制度を考えている。今後も農業経営の維持発展にご協力いただきたい。

●平松 グループへの補助金はどうか。

■振興課長 新農業の補助金は終了しています。

●平松 個人への補助制度だけでなく、地域にも考えられないか。

■町長 若い皆さんが子育てをしながら食べていける状況でないと農業をやる人がいなくなる。付加価値の悪い米作りから付加価値のついた農業品目への取り組みが必要であり、その仕組み作りがアトムの責務。今回のアトムのプロジェクトはそれを目指した考えである。

問 道路設計の見直しを



村澤 博光

●村澤 横断側溝について、道路設計、仕様書、設計基準はどうなっているか？県道深沢阿南線、林道大沢線、田上線など走行に支障をきたす箇所があり危険だ。

■建設課長 県道深沢阿南線は横断側溝については、基本は道路を建設する上で水の処理、災害に強い道路を造る基準を基に設計をしている。

また、経年劣化といい、長年にわたって横断側溝の部分が側溝の構造物の下を水が通ってしまっていて、開渠の横断側溝を



横断側溝？

ても管理は行つ、運用基準になつてい

る。今回、激甚災害を

受けた作業道の復旧

について、補助金

適用するとなつた。

国、県に対して、激

甚災害時のみでなく

通常の災害にも適用

を要望する。

■建設環境課長 激

甚でその事業につい

て対象にということ

ですが、7月豪雨が激甚災

害で被害の報告等が入つて

いなかった。森林整備を行

う都度に仮設道をまた、以

前のものを使うということ

になれば修復しながら使わ

れているという認識であ

り、今後検討したい。

問 森林作業道も災害復旧の対象に

●村澤 森林作業道を設置しても災害復旧の対象にならない。

設置作業道実施要領の運用では、民有林の林道台帳作成することで、作業道は維持管理費用の記載はなく

維持管理費用の記載はなく

から3倍になっている。生活保護など相談件数など、生活の実態の把握はできて

いるか。

■民生課長 コロナ禍を原因とした生活困窮の相談

は、今のところありませ

ん。コロナを原因としない

生活困窮という相談は4月

以降3件ほど、1件は生活

保護へつなげ、もう1件は

今生活保護をどうするかと

検討をしている状況。

●村澤 全国的に、自殺者が

が多くなっている。家ごも

りの中でDV被害とかも増

えている。専門家につな

げる体制、困つたら方の相

談110番体制を。

また、コロナに罹患され

た方の誹謗中傷もきちんと

した対応を取っていただき

たい。決意を。

■町長 医師の先生方から

これからが本番で、来年の

9月から10月まではかかる

だろうと、自分の健康は自

分で守るといふ基本的な姿

勢の中で、町もできる施

策は取っており、この地域

策は取っており、この地域

で発生しないように、周囲の健康を阻害しないような自分の健康管理をしていた

だきたい。全町民に対して

できる努力はさせてもらっ

ているというのが、私の今

の状況。



金田 豊

●金田 感染が

広がっている地

域との往来をゼ

ロにはできない

が、PCR検査

や抗原検査で安

全を確保するこ

とはできるので、

検査に補助をす

る考えは。

■民生課長 飯

田下伊那の市町

村で成人式対応

の帰省学生への助成が増え

ているが、町では、町主催で

ないので助成は考えていな

い。自分の行動は自分で責

任をとることが必要で、不

安であれば、自費でお願い

したい。

●金田 介護・医療現場の

従事者への検査補助はどう

か。

■民生課長 福祉施設の職

員だからの助成はおかしい。

●金田 町内で感染者が確

認された場合のシミュレー

ションは。

■民生課長 全て保健所の

主導となる。住民への注意

喚起である感染予防の周知

徹底、誹謗中傷防止の願

いの予定。

■総務課長 例えばかじか

の湯となれば、保健所の指

導のなかで即休業が望まし

いかと思う。

■教育長 学校関係では、

ガイドラインに従い、およ

らく休校、2〜3日消毒、3

日以内には登校できるように

に対応したい。

●金田 年末年始の帰省を

問 アトムの経営改善について



藤澤 隆壽

●藤澤 一般

社団法人アト

ムハ町から4

千数百万円の

支援金と職員

1名が出向し

ているが、次

について理事

会への反映と

改善を求める。

①入口看板に

観光案内の業

務表示がある。

非現業の対応で土、日、祭

日に休館しているが現業対

応で通年営業すべきでは。

■町長 「自分の生まれたところ、ふるさとへ帰って

くるな」と言及するのは失

礼かなと。自分の健康は自

分で守る。周りの人の健康

は阻害しないという認識を

持って臨んでほしい。

■副町長 アトムは、町の委託を受けながら農業の振興をやっている組織であり、理事会へ持ち帰り協議をしたい。個人としては、現業でのやり方を検討しなければと考えている。

●藤澤 ②集荷した生産物は、町内で販売促進すべきでは。

■副町長 考えは、理事会へは反映させます。が、農産物を町内だけで賄うことは、振興課の試算や聞き取りで、はけない結果がでております。

●藤澤 ③生産者が自ら販売できる直売所の建設を

■町長 ご指摘の種々の点について、理事会で検討し施設整備等ひとつづつ前へ進めていきたい。

問 観光開発について

●藤澤 コロナ禍でピンチである。このピンチをチャンスとして培え、大開発でなくたやすく出来る小さな開発で都会から自然を求めてくる地方への移住者等へ



「塔の観音」北條・東條・泰阜村南一望できる絶景

の開発を。①星空を見る山の開発を新野向山地籍を。②和合の清流を活かしたキャンプ場の開発を。③小野、平久境の「塔の観音」絶景の開発を。

■振興課長 新野の向山地

籍はこれから現地視察をします。キャンプ場、展望台についても現施設の更なるPRと、コラボ会議での検討もふまえ、今後研究していきたい。

県議会議長・県建設部長への 提言活動

12月9日(水)、県庁議長室に於いて、小池清県議会議長及び田下厚志建設部長をはじめ田中建設技監、坂下参事、勝野道路維持課長に出県建設部提言活動を行った。

町からは、勝野町長、小泉建設環境課長、議会からは正副議長、総務産業建設常任委員長が代表で出席した。



提言事項

1. 国道 151 号新野峠工区・落合工区の整備促進について
2. 国道 418 号新野東町地籍の拡幅改良整備促進について
3. (主)飯田富山佐久間線中谷地籍の拡幅改良整備促進について
4. (主)阿南根羽線防災工事の継続的实施について
5. (一) 深沢阿南線防災工事の継続的实施について

編集後記

明けましておめでとございます。

昨年は、コロナに振り回された1年となりました。今年も、コロナが終息しオリンピックも盛大に開催される明るい話題の多い年にしたいですね。